

第22回キンカ高分子化学研修コース

高分子化学の実学を身につけさせたい上司、身につけたい新人に朗報
研究者ネットワークづくりの絶好の機会です

主 催：近畿化学協会

協 賛：日本化学会近畿支部 高分子学会関西支部 繊維学会 日本接着学会
化学工学会関西支部 有機合成化学協会関西支部 大阪工研協会 <予定>

キンカの面倒見のよさを生かした企画です。就職して、高分子の研究や製造業務に携わることになった新社会人や、製造現場にかかわりを持つ経験者で高分子化学を再度概観されたい方、技術者以外でも高分子に関わりをもたれている方など、全般を対象としています。大学でも企業でも教えられない「高分子の実学の基礎」をわかりやすく伝授する、ひと味違った講習会です。企業では多くの研究者が高分子に携わっているのに、就職してすぐに役立つ基礎知識についてはほとんど学べていないのが実態です。企業研修プログラムとしても利用していただければ、この研修をきっかけにして高分子化学のセンスと実学を効率よく身につけてください。

またキンカが大切にしている、人と人との交流についてもサポートします。講演終了後に交流会を行い、若いうちから他社に知り合いを作るお手伝いをします。将来必ず役に立ちますので、ぜひとも参加して、質問の続きや情報の交換をして産学官に知り合いを作ってください。

日 時：2026年 3月12日（木） 9時30分～18時40分

会 場：大阪科学技術センター7F 701号室

（大阪市西区靱本町 1-8-4）

<交通>Osaka Metro(地下鉄)四つ橋線「本町」駅 25 番、28 番出口を北へ徒歩約 5 分、うつぼ公園北詰

【講 演】

1. 高分子の概論と合成 ～基礎と最先端合成技術 (9:30～11:00)

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科 教授 中 建介 氏

近年の多様なモノマーを用いた精密重合法の発展によって、末端基、分子量および立体構造が高度に制御された優れた機能をもつ高分子の合成が可能となっており、これら高分子を用いた光学材料、電子材料、磁性材料や医用材料などが次々と開発されている。本講演では包括的に最先端の高分子合成技術を知り、自らの研究や材料開発に取り入れられそうな高分子材料に関するヒントを得られることを目的とする。

2. 高分子の製造技術 ～重合反応装置における攪拌と混合 (11:00～12:10)

住友重機械プロセス機器(株)エンジニアリング部 副部長 竹中 克英 氏

攪拌型の重合反応装置は、ポリマー製造プロセスにおけるプラント全体の心臓部として使用されるケースが多い。本講演では、重合反応装置の選定および設計に関する基本的な考え方について説明し、あわせて最近の開発動向を紹介する。

3. 高分子の構造と物性 ～高分子らしさの起源 (13:20～14:50)

放送大学 客員教授／大阪大学名誉教授 佐藤 尚弘 氏

高分子材料である繊維はしなやかで引っ張りに対して丈夫であり、ゴムは外部の力に応じて変形して衝撃や振動を緩和し、またプラスチックの加工においては任意の形に容易に成形できて大量生産が可能である。これらの高分子材料の特性は、何に由来するのだろうか？高分子は、細長いひものような分子から構成されているが、その分子の形・性質が高分子固有の物性を醸し出している。本講演では、高分子の分子としての特性を説明し、物性との関係を明らかにする。

4. プラスチック成形品の不具合 ～原因究明とその対策 (15:05～16:15)

大阪公立大学 客員教授 樋口 裕思 氏

プラスチック成形品を実環境で使用すると、さまざまな不具合が発生することがあります。ここでは、成形品を市場に供給した組織が、どのようにして不具合事象に対応しているかを紹介します。発生した不具合の原因を究明し、対策を施すまでの一連の過程を、「環境応力割れ」を例にとりて説明します。事後対策は材料選定や成形方法および形状の変更などに及ぶため、素材メーカーや加工メーカーに遡って、相互に協力して課題解決することが重要です。

5. 研究開発と事業化 ～企業における DX の位置付けと活用事例 (16:15～17:25)

大阪ガスケミカル株式会社 執行役員 保存剤事業部長 長嶋 太一 氏

高分子材料をラボレベルからビジネスとして展開していくためには、社内外の環境分析に基づく戦略立案、研究開発の加速、効率的な工業的量产など、多くの経営視点での意思決定が必要となる。これらを体系的に行うためのフレームワークを例に挙げながら解説するとともに、化学企業における DX の実践的活用事例を紹介する。

交 流 会 (17:40 - 18:40) 講義終了後に受講者・講演者の交流の場を設定します。

申込締切 3月3日（火）／ 定員100名になり次第締切

参 加 費 主催・協賛団体会員 30,000 円、会員外 40,000 円（消費税込、テキスト代込）

申込方法 本セミナーのホームページ(<https://kinka.or.jp/event/2026/kobunshi22.html> <作成中>)からお申込み下さい。

＊参加費の送金は、銀行振込（三井住友銀行備後町支店 普通預金 No. 1329441 一般社団法人近畿化学協会）、をご利用ください。（振込手数料は各自ご負担願います。）

＊主催・協賛団体会員である会社・工場よりお申込みの場合、参加者個人が会員外であっても会員参加費で取り扱います。

＊申込者にはE-mail にて参加証を送付します。（3月上旬頃）

＊お申込後のキャンセルは3月4日（水）までにお問い合わせ致します。期日までにご連絡がない場合は参加費を頂戴致します。

申込・問合先 一般社団法人 近畿化学協会「キンカ高分子化学研修コース」係
〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-8-4 大阪科学技術センタービル 6 F
TEL：06-6441-5531／FAX：06-6443-6685／E-mail：seminar@kinka.or.jp

